

昨シーズンより 23 日早い！ 六甲山スノーパーク 全面滑走可能！ ～1月11日（土）から第2ゲレンデオープン～

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:寺西公彦)が運営する六甲山スノーパークでは、1月11日(土)より第2ゲレンデをオープンし、全面滑走可能となります。

1日に約240t造雪できる人工造雪システム(アイスクラッシャーシステム)に加えて、 -2°C 以下の条件下で稼働できる人工降雪機(スノーファン)を稼働してゲレンデメイクに努めた結果、1月11日(土)に全面滑走可能となり、リフト全3基を稼働できる体制が整いました。昨シーズンは記録的な暖冬でしたが、今シーズンは久しぶりに冷え込みが続いたことで、昨年よりも23日早い全面滑走可能となる予定です。

※天候・ゲレンデコンディションにより内容を一部変更する場合があります。

■現在のゲレンデ状況 (1月11日(土) オープン時の予定)

- ◆第1ゲレンデ 積雪100cm/幅40m×長さ260m
- ◆第2ゲレンデ 積雪100cm/幅15m×長さ260m
- ◆スノーランド(雪ゾリ・雪あそび専用ゲレンデ)積雪50cm/幅200m×長さ50m



2025年1月7日午前8:30時点のメインゲレンデの様子

造雪機&降雪機の詳細情報は2ページ目に！

■人工造雪システム(アイスクラッシャーシステム)とは？

合計240枚の冷却プレートに水を垂らして氷の板を作り、ホットガスを注入してプレートから氷の板を剥がします。剥がれた氷の板は、スクリューで砕氷機に運ばれるまでに3~4cmのサイズに分断され、最終的に砕氷機で1cm前後の大きさに砕き、雪を作ります。氷の板は2分毎に20枚ずつ作られます。このシステムでは、砕氷機で雪の大きさを調整できるため、天候や気温に適した雪を供給することができます。人工雪は空気圧を利用してパイプを通り、ゲレンデに出雪されていきます。



人工造雪システム 出雪時の過去の様子

■人工降雪機(スノーファン)とは？

スノーファンは、空中に圧縮した空気と霧状の水を吹き上げることで、人工的に雪を造る機械です。一度に多くの水を排出し大量の雪を造ることができるのが特徴です。稼働条件として、気温が-2℃を下回る必要があります。



スノーファン 稼働時の過去の様子

<シーズンごとの第2ゲレンデオープン日表>

	2024-2025 シーズン	2023-2024 シーズン	2022-2023 シーズン	2021-2022 シーズン
第2ゲレンデ オープン日	2025年 1月11日(土)※	2024年 2月3日(土)	2023年 1月8日(日)	2022年 1月6日(木)

※2024-2025シーズンは2025年1月10日午前8:30時点でのオープン予定日

<この資料に関するお問合せ先>

六甲山スノーパーク
TEL:078-891-0366 / FAX:078-891-0757
〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-98